

2026年2月27日

デュアルライフ東北・新潟イベント

「移住でも観光でもない選択。彼らが『東北・新潟×デュアルライフ』に見た可能性」 の開催について

一般社団法人 東北経済連合会（会長：増子次郎）は、3月6日（金）、仙台市内において「移住でも観光でもない選択。彼らが『東北・新潟×デュアルライフ』に見た可能性」と題するパネルディスカッションを開催いたします。

当会は二拠点生活と副業・兼業のためのポータルサイト「デュアルライフ東北・新潟」(<https://duallife-tohoku-niigata.jp/>) を開設し、東北・新潟を舞台にした二拠点生活の魅力を発信しています。この度のパネルディスカッションでは、同ポータルサイトでご紹介している二拠点生活実践者“デュアラー”と、デュアラーの受け入れに取り組む方々をパネリストにお招きし、実践者ならではの体験談を伺います。

当会としては、デュアラーが経営者の右腕として力を発揮し得る人材であるとともに、企業や地域社会に新たな可能性をもたらす存在であることを会員企業に知っていただく機会にしたいと考えています。

当日は報道席をご用意しますので、ぜひご取材いただきますようお願いいたします。なお、オンライン視聴をご希望の場合は、下記問合せ先にご連絡ください。

記

- 日 時：2026年3月6日（金）13:30～16:30
※対面・オンラインのハイブリッド開催
- 会 場：^{エンスペース}enspace（仙台市青葉区国分町1-4-9）
- 主 催：一般社団法人東北経済連合会
- 登壇者：[パネリスト] 東北・新潟で二拠点生活を実践する“デュアラー”7名
[ファシリテーター] 株式会社パソナ東北創生 執行役員 林 光人 氏
- 聴講者：東北経済連合会 会員企業
- ディスカッションのテーマ
 - ・二拠点生活は個人のライフスタイルに何をもたらすのか～実践者から聞くリアル～
 - ・二拠点生活は東北新潟に何をもたらすのか～越境から生まれる可能性について～

以 上

【本件に関する問合せ先】

（一社）東北経済連合会 企画グループ

大宮 TEL：022-397-6456 E-mail：d-omiya@tokeiren.or.jp

高山 TEL：022-397-6734 E-mail：a-takayama@tokeiren.or.jp

TOHOKU & NIIGATA

Discussion Meeting



同時オンライン配信

会場:enspace

- 仙台駅から徒歩15分
- 仙台市地下鉄東西線青葉通一番町駅から徒歩6分



つながる・住まう・育む、これからのカタチ

東北・新潟の企業によるデュアラーの受け入れをより促進するための土台作りや、東北・新潟の今後の在り方を検討するために、デュアルライフ実践者や受け入れ企業の方の体験談を伺い、会員企業や自治体と一緒にデュアルライフの促進について考える機会を提供する。



移住でも観光でもない選択。
彼らが『東北・新潟×デュアルライフ』に見た可能性



PROGRAM

- ① 開会あいさつ
- ② パネラーの取り組み紹介
- ③ パネルディスカッション

テーマ1: 二拠点生活は個人のライフスタイルに何をもたらすのか～実践者から聞くリアル～
テーマ2: 二拠点生活は東北新潟に何をもたらすのか～越境から生まれる可能性について～

2026 **3.6** Fri 13:30-16:30

主催:東北経済連合会

移住でも観光でもない選択。 彼らが『東北・新潟×デュアルライフ』に見た可能性

パネリスト



飯田 有紀子

静岡出身。通信企業でICTを活用したまちづくりに携わり、初期配属の宮城県仙台市でONETOHOKU立ち上げをはじめ地域・キャリア支援を開始。現在は三重在住で神奈川勤務、社外で東北・東海の地域やキャリアに関わる活動を継続。



石川 里嘉

都内虎ノ門や六本木でコンビニを経営しながら、山形県最上郡とのデュアルライフを実践。山形の野菜や米など、良いものを都心に提供し、生産者もやりがいを感じられる仕組みをつくるため、月1で最上郡の生産者の方と直接会い交流を深めている。今後も地元の想いを代弁し、山形の魅力発信とビジネスの販路拡大を目指す。



大塚 眞

横浜市出身。学生時代、東日本大震災のボランティアをきっかけに地方で起業。2015年、当時から通っていた新潟県十日町市に移住。地域政策運用法人の一般社団法人にいがた圏を設立。移住コンシェルジュなどの人材派遣組合の運営をしながら、都内の大学院に通い公共政策を学ぶ。明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 在籍。



高橋 今日子

慶應義塾大学進学を機に秋田から上京。JICA海外協力隊や国際協力銀行に勤務。子育てをしながら東京大学大学院に進学、博士号(サステナビリティ学)を取得。2023年1月、子供にあった学びの環境を求め秋田県五城目町へ移住。東京大学と国際教養大学の研究員、世界銀行東京事務所のコンサルタントの仕事のリモートワークで行う。



村岡 葉子

北上の豊かな自然や人に魅せられ、2020年より北上・仙台と東京で2.5拠点生活中。講師として心と体の健康をテーマに活動する中、夏油温泉観光ホテルの再生プロジェクトを立ち上げる。温泉を核にしたウェルビーイングな場を提供し、心の繋がりを感じられる居場所を目指している。夏油温泉観光ホテル共同代表兼女将。



村上 純平

北海道上川郡清水町出身。1993年生まれ。帯広三條高校、弘前大学卒業後、2017年に古紙商社へ入社。2020年、結婚を機に青森へ移住し現職へ転職。現在は社長の右腕として企画開発室長を務め、経営企画や業務改善、新規事業の推進を担当。社内外の連携や人材活用にも力を入れ、地域に根ざした企業を目指している。



星 久美子

都市と地方のつながり創出を軸に、ふるさと回帰支援センターや(一社)RCFでの都市部人材と地域のマッチング、(株)LIFULLでの多拠点居住サービスの立ち上げなどを経て、2025年4月に同社(株)雨風太陽に参画し、関係人口部門の責任者を担う。東京、埼玉県横瀬町、福島県会津地域をメインとした多拠点生活を送る。

ファシリテーター



林 光人

株式会社パソナ東北創生執行役員。岐阜県出身。パソナテック社での首都圏のITエンジニアの転職支援を担当したあと、パソナ東北創生に参画。現在は岩手県釜石市と東京都渋谷区のと拠点生活をしながら、東北地方を中心とした地域中小企業の組織開発および人事戦略を支援。

申し込み締め切り・参加方法「URLまたは二次元バーコードよりお申し込みください」

お問い合わせ先：一般社団法人東北経済連合会 企画グループ TEL 022-397-6456

